

平成24年度

市立中央病院改革プランの進捗状況・評価

大 月 市

## 1 進捗状況

### (1) 再編・ネットワーク化

「再編・ネットワーク化」については、県の富士・東部地域保健医療推進委員会での構想を踏まえ、近隣病院との具体的連携に向けた検討を進めることとしています。

### (2) 経営形態の見直し

「経営形態の見直し」については、現状の経営形態を維持した上で平成31年度までの実績を検証の上、最終的判断を行うこととしています。

### (3) 経営改善対策

常勤医師の確保を通じた診療科等の充実を通じ、市民からの信頼に応える病院づくりを進め8年後の経営黒字化を目指すこととしています。

### (4) 数値目標

経営の効率化に向けた、具体的な数値目標に対する進捗状況は、平成24年度実績報告書（資料1）のとおりとなりました。

## 2 評価

改革プランの最重要課題である常勤医師数は、平成24年7月末に2名の退職があり、以降常勤医師確保に向け努力され、2名が確保されたものの増員はかなわず、平成24年度末の目標数値10名に対して1名不足しています。

各種指標では、一部の指標で目標数値に達しているものがありますが、整形外科の休診、新病棟建設及び常勤医師不足の影響があり、平成23年度との比較では減少しました。病院経営の根幹と言える入院収益は、改革プランの数値とはかけ離れていて、依然厳しい経営状況にあるといえます。

特に、医業収支（医業費用と医業収益の差）については、5億1千万円を超える赤字となっており不採算部門に係る経費を差し引いたとしても一般会計に及ぼす影響は無視できないレベルとなっています。

また、数値目標③-2に示すとおり職員給与比率は77.4%となっており、この原因としては、前述で示したとおり入院収益の減少が主な原因となっておりますが、外来収益においてもここ数年頭打ちの状況が続いていることから職員体制に見合う医業収益をいかにして確保するか、病院全体として取り組む必要があるものと思われま

# 市立中央病院改革プラン2013

## 平成24年度 実績報告書

記載例

改革プランに基づく項目名を記載しています。

内容	改革プランに基づく項目内容を記載しています。						
	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価
状況	目標						
	実績			各項目の実施状況について記載しています。			
	達成率						
コメント	評価に対してのコメントを記載しています。						

各項目の状況を計画と比較して評価を行っています。

評価	達成率	評価の基準
A	100%以上	: 目標値あるいは、目標値を上回っている
B	99~80%	: 目標値を下回ったが改善傾向あるいは横ばい状況である
C	99~80%	: 目標値を下回り、下降傾向にある
D	79%以下	: 目標値を大きく下回っている
—		: 現時点で評価しがたい

**【参考】平成23年度までの評価基準**

- AA : 計画を上回ったもの
- A : 計画どおりのもの
- B : 計画をやや下回ったもの  
若しくは、計画を下回ったが改善傾向にあるもの
- C : 計画を大きく下回ったもの
- : 現時点で評価しがたいもの

## (4) 数値目標

① 常勤医師数								
内容	病院の根幹となる常勤医師の確保に最大限努力し、平成31年度末には、18人体制を目指します。							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	B
	目標	9人	10人	11人	10人	13人		
	実績	9人	10人	9人	9人			
	達成率	100%	100%	82%	90%			
コメント	改革プランの最重点課題である常勤医師の確保については、整形外科の休診により一時は7名まで減少したがその後、内科と外科に各1名増員が図られ、24年度末には目標値に比べ1名減となっている。							

② 経常収支比率(総収益対総費用)								
内容	常勤医師の確保と市外で治療を受けている人を呼び戻し、診療収益の増収を図り、31年度において経常収支の均衡を目指します。							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	C
	目標	95.5%	96.1%	100%以上	97.9%	98.9%		
	実績	94.2%	98.9%	97.9%	95.8%			
	達成率	99%	103%	98%	98%			
コメント	経常収支比率は95.8%で、計画値に対し2.1ポイント及ばなかった。また、一般会計から358,000千円の補填を受けており、補填分を差引いた経常収支比率は、81.4%である。							

③-1 職員給与比率(職員給与対医業収益)※非常勤医師の賃金を除く								
内容	職員配置の適正化及び医業収益増により、31年度において47.8%を目指します。							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	C
	目標	50.5%	50.0%	49.0%以下	57.7%	53.0%		
	実績	56.6%	52.6%	55.2%	62.5%			
	達成率	89%	95%	89%	92%			
コメント	職員給与対費は目標値に比べ、75,000千円の増額となっている。これは法定福利費の増加が影響していると考えられる。 職員給与対費比率は、目標値に比べ4.8ポイント高い数値となった。							

③-2 非常勤医師の賃金を含む職員給与比率								
内容	前述の「職員給与比率(職員給与費対医業収益)※非常勤医師の賃金を除く」に対する参考項目							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	C
	目標	63.0%	61.9%	60.0%以下	71.7%	63.9%		
	実績	69.7%	65.1%	67.6%	77.4%			
	達成率	90%	95%	89%	93%			
コメント	目標値に比べ5.7ポイント高い数値となった。 H23年度 272,080千円 H24年度 284,319千円と、非常勤医師に係る賃金が増加している。							

④ 病床利用率(提言病床154床による利用率)								
内容	常勤医師不足により、診療体制の縮小を余儀なくされ受入が制限されている。常勤医師と看護師の確保に取り組み、新病棟完成後の26年度からは病床数を200床に設定し、31年度における病床利用率は66.1%を目指します。							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	D
	目標	74.7%	79.9%	85.0%以上	64.1%	63.3%		
	実績	54.4%	65.2%	64.5%	50.7%			
	達成率	73%	82%	76%	79%			
コメント	病床利用率は、整形外科の休診と新病棟建設に伴い利用病床が限られることにより、目標値に比べ13.4ポイントと大幅に低い数値である。							

⑤-1 1日平均患者数(入院)								
内容	診療体制の縮小に伴い患者数は減少している。さらに、新病棟建設中は患者数の減少が見込まれますが、完成後は診療体制の集約化により患者数の増加を目指します。 患者数は診療収入の根幹となるため、新病棟建設と常勤医師及び看護師の充足を図り、診療体制を整え、また、患者吸引力を高め、31年度の1日平均入院患者数を132人とします。							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	D
	目標	115人	123人	132人	99人	97人		
	実績	84人	100人	99人	78人			
	達成率	73%	81%	75%	79%			
コメント	1日平均入院患者数は、目標値に対して21人減となっている。これは、平成24年7月から整形外科の常勤医が減となり入院を担えなくなったこと、新病棟建設中のため利用可能な病棟が制限されていることが影響している。							

⑤-2 1日平均患者数(外来)								
内容	<p>新病棟建設中は患者数の減少が見込まれますが、完成後は診療体制の集約化により患者数の増加を目指します。</p> <p>新病棟建設と常勤医師及び看護師の充足を図り、診療体制を整え、また、患者吸引力を高め、31年度の1日平均外来患者数を400人とします。</p>							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	A
	目標	260人	278人	288人	271人	277人		
	実績	277人	312人	286人	274人			
	達成率	107%	112%	99%	101.0%			
コメント	1日平均外来患者数は、目標値を上回っているが、診療体制の縮小に伴い平成22年度から患者数は減少傾向にあります。							

⑥ 健診受診者数								
内容	<p>企業健診は、健診センターのほかに健診バスで行っていましたが、老朽化により廃車したため受診数の減少が見込まれますが、受診の確保に努めます。健診受診者数は、平成24年度の目標値から、住民健診・特定健診・人間ドック・企業健診の受診者に変更した。(学校健診を除くこととした。)</p> <p>※ 平成21年度～23年度の実績の( )は学校健診を除いた数値</p>							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	A
	目標	12,900人	14,000人	15,000人	6,292人	6,500人		
	実績	11,065人 (3,782人)	13,297人 (6,429人)	11,295人 (6,975人)	6,560人			
	達成率	86%	95%	75%	104%			
コメント	市の健診事業を受託しているが、市との綿密な連携により市民の健診受診率向上を図ることが重要であります。							

⑦ 救急患者受入率(休日・夜間)								
内容	<p>東部医療圏域において二次救急医療機関として病院郡輪番制の基に休日・夜間の救急医療を行っていますが、平成16年度以降常勤医師不足のためほとんどの当直医は非常勤医師です。</p> <p>また、圏域内で唯一、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師を加えた院内当直体制を採っています。今後は、常勤医師の充足に努め31年度には90%の受入率を目指します。</p>							
状況	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	評価	A
	目標				84.0%	85.0%		
	実績				89.0%			
件数	要請件数				2,987件		評価	A
	受入件数	2,321件	2,101件	2,078件	2,658件			
コメント	救急患者受入率は、目標値を上回り、受入件数も伸びており改善傾向がうかがえる。 ※救急車による受入は713件							

平成24年度末 数値目標達成状況 一覧

		目標値	実績	増 減	達成率	評価	
年度末常勤医師数		10 人	9 人	-1	90%	B	
經常収支比率		97.9 %	95.8 %	-2.1	98%	C	
職員給与費比率 (除・非常勤医師賃金)		57.7 %	62.5 %	4.8	92%	C	
職員給与費比率 (含・非常勤医師賃金)		71.7 %	77.4 %	5.7	93%	C	
病床利用率(提言病床 154床)		64.1 %	50.7 %	-13.4	79%	D	
1日平均 患者数	入院	99 人	78 人	-21	79%	D	
	内 訳	一般	74 人	56 人	-18	76%	D
		療養	25 人	22 人	-3	88%	B
	外 来	271 人	274 人	3	101%	A	
健診受診者数		6,292 人	6,560 人	268	104%	A	
救急患者受入率		84 %	88.4 %	4.4	105%	A	

平成24年度末 収支計画 達成状況

1. 収支計画（収益的収支）

（単位：百万円）

		目標値	実績	増減	達成率
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,932	1,902	-30	98.4%
	(1) 料 金 収 入	1,690	1,658	-32	98.1%
	(2) そ の 他	242	244	2	100.8%
	うち他会計負担金	90	80	-10	88.9%
	2. 医 業 外 収 益	400	486	86	121.5%
	(1) 他会計負担金・補助金	375	467	92	124.5%
	(2) 国（県）補助金	8	6	-2	75.0%
	(3) そ の 他	17	13	-4	76.5%
	経 常 収 益 (A)	2,332	2,388	56	102.4%
	支 出	1. 医 業 費 用 b	2,305	2,419	114
(1) 職 員 給 与 費 c		1,114	1,189	75	93.7%
(2) 材 料 費		400	361	-39	110.8%
(3) 経 費		680	751	71	90.5%
(4) 減 価 償 却 費		111	118	7	94.1%
(5) そ の 他					
2. 医 業 外 費 用		76	74	-2	102.7%
(1) 支 払 利 息		26	27	1	96.3%
(2) そ の 他		50	47	-3	106.4%
経 常 費 用 (B)		2,381	2,493	112	95.5%
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	-49	-105	-56	46.7%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)				
	2. 特 別 損 失 (E)				
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)				
純 損 益 (C) + (F)	-49	-105	-56	46.7%	
累 積 欠 損 金	1,347	1,403	56	96.0%	

経 常 収 支 比 率 (A)/(B) × 100	97.9%	95.8%	-2.2%	97.8%
医 業 収 支 比 率 a / b × 100	83.8%	78.6%	-5.2%	93.8%
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 c / a × 100	57.7%	62.5%	4.9%	92.2%

2. 収支計画（資本的収支）

（単位：百万円）

		目標値	実績	増減	達成率
収 入	1. 企業債	229	153	-76	66.8%
	2. 他会計出資金				
	3. 他会計負担金	75	85	10	113.3%
	4. 他会計借入金				
	5. 他会計補助金				
	6. 国（県）補助金	115	84		
	7. その他		16		
	収入計 (a)	419	338	-81	80.7%
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (b)				
	前年度許可債で当年度借入分 (c)				
純計 (a) - [(b) + (c)] (A)	419	338	-81	80.7%	
支 出	1. 建設改良費	345	284	-61	121.5%
	2. 企業債償還金	129	129	0	100.0%
	3. 他会計長期借入金返還金				
	4. その他		4		
	支出計 (B)	474	417	-57	113.7%
差引不足額 (B) - (A)		55	79	24	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	55	79	24	
	2. 利益剰余金処分量				
	3. 繰越工事資金				
	4. その他				
計		55	79	24	

3. 一般会計等からの繰入金

（単位：千円）

	目標値	実績	増減	達成率
収益的収支	( 300,000 )	( 380,332 )	( 80,332 )	78.9%
	465,000	548,073	83,073	84.8%
資本的収支	( 0 )	( 0 )	( 0 )	(—)
	75,000	85,003	10,003	88.2%
合計	( 300,000 )	( 380,332 )	( 80,332 )	78.9%
	540,000	633,076	93,076	85.3%

※ ( )内は基準外繰入金額(内数)